

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	みわのわ
活動テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本対震災で避難を余儀なくされている子の心身の保養 ・ 地域との交流を通じて共助の精神を育む ・ 自然体験を通して防災教育を推し進める



東日本大震災で避難を余儀なくされている子たちが4泊5日のサマーキャンプで三和町の自然と町民の優しさに触れ、心身のストレスから解放されて思い出深い体験をすることができました。

12月に私たち実行委員が福島へ行き、親子交流会を持ちました。孤独な避難生活の中、サマーキャンプで明るく元気になって帰ってくる子供を見、三和町での楽しい思い出話を繰り返し聞いた親は、「自分も元気が出てきて、生きていく勇気が出てきました。」「三和町全体の人が協力してキャンプしてくれる町ってすごい。」等、生きる支えになっていることがわかりました。

また今年度より親子の強い希望があって、リピーターの子たちも受け入れることになりました。私たち三和町民の中にも積極的に参加して下さる方が年々増えてきて、そのアイディアで新しい取り組みもできるようになってきました。

今年は、高杉集落センターをお借りして、キャンプをしました。高杉の人が、「福島の子、うちの川で遊ばせてあげて、ええ川やから。」と誘って下さいました。今まで3年続けてきて、馴染んできた芦刈集落センターを離れるのは寂しいことでしたが、町の人から声をかけて下さるようになったということは、とてもうれしいことです。なるほど高杉川は子どもたちが川遊びをするのもってこいの川でした。高杉の方は、畑で伏見唐辛子やブルーベリーを収穫させて下さったり、新鮮な夏野菜を届けて下さったり、帰りには朝から見送りに来て下さいました。「久しぶりに元気な子どもの声を聞かせてもらった。またおいでや。」と涙されました。300人あまりのボランティア、物資提供、心温まるもてなしを受け、15人の子どもたちは元気に福島へ帰って行きました。